

## 会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (3)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第4回授業改善サポーター養成講座開発委員会
開催日時	令和7年10月7日(火) 18:00~19:00
場所	デジタルハリウッド大学
出席者	委員：小田 政江、合田 美子、猪俣 昇、吉橋 大樹、半田 純子 足立 隆、田中 秀樹 計7名 オブザーバー：岡村 慎一 計1名 合計8名
議題等	<p>1. 第1回研修(10/7)の総括と課題抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修実施報告と参加者フィードバック <ul style="list-style-type: none"> <li>○出席状況、東京会場における運営状況、機材や資料配布の不備等について報告された。</li> <li>○オンライン研修においては、運営面で講師への負担が大きく、機材を含めた運営サポートが必要であることが課題として挙げられた。</li> <li>○研修の雰囲気について、アイスブレイクの時間は堅かったものの、2時間経過後には参加者同士が打ち解けていたことが報告された。</li> <li>○第1回研修(対面)に関する参加者アンケート結果の速報共有と総括が行われる。</li> </ul> </li> <li>・アクションプラン(T1-T2)の提出までの状況確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>○受講生から研修2(11/4)までに提出されるアクションプラン(研修1-研修2)の提出状況と、これに対する指導・フィードバック体制の確認方法が検討される。</li> <li>○提出されたアクションプランの内容に基づき、第2回研修で特に重点的に扱うべき課題を抽出する。</li> </ul> </li> </ul> <p>2. 第2回研修(11/4)の最終準備と第3回研修(12/1)の調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回研修(11/4 オンライン)と第3回研修(12/1 オンライン)の確認</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>○オンライン環境 (LMS/Zoom) の動作確認と、ブレイクアウトルーム配置等のグループワーク運営に関する確認が行われた。</li><li>・<b>講師からの要望事項</b><ul style="list-style-type: none"><li>○ブレイクアウトルームでのファシリテーションについて、昨年は状況に応じて臨機応変に対応したが、今年は「そのまま OK」とする方針が確認された。</li><li>○コミュニティの状況を進化させる取り組みが必要である。</li><li>○リーダーへの声かけや、コミュニティの役割・意義の共有を進める必要がある。</li></ul></li><li>・<b>第3回研修の内容設計</b><ul style="list-style-type: none"><li>○第3回研修では、「授業改善サポーター業務報告」の共有方法、および自校における授業見学評価用チェックシートの作成に関するグループワークの設計が確認された。</li></ul></li></ul> <p><b>3. 事業の継続運営と次年度計画 (最重要戦略議題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>フォローアップイベント (1/9) の具体的な企画と集客方針</b><ul style="list-style-type: none"><li>○イベントは1月9日16時から開始され、1時間の基調講演とお悩み相談会が企画されている。</li><li>○鈴木克明教授を招いたイベントのテーマと内容の最終決定が行われた。</li><li>○修了生・受講生へのイベント周知方法と集客目標の確認が行われた。</li><li>○集客方針として、コミュニティの役割・意義の共有アンケート時のお礼と、1回目のレター (10月中に配信)、2度目のレター (11月終了後に配信) を通じて周知を図る。</li></ul></li><li>・<b>コミュニティ (Facebook グループ) の運用状況と活性化策</b><ul style="list-style-type: none"><li>○第3期生を招待したコミュニティの立ち上がり状況と、今後のリーダー (4名) を中心とした活性化支援策が協議された。</li><li>○リーダーの方々へは懇親会で声かけを行う予定である。</li></ul></li><li>・<b>次年度以降の継続事業に関する費用モデル・運営提案の検討</b><ul style="list-style-type: none"><li>○文科省事業終了後の自立・継続運営に必要な財源確保に関する具体的な方策 (LMS の生涯アカウント費用やコミュニティ運営費など) が協議される。</li><li>○全専研理事会・統括委員会に提出する提案書 (案) の作成を開始する。</li></ul></li></ul>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"><li>・熊本大学との教育連携協定の進捗<ul style="list-style-type: none"><li>○協定書の協議状況と、具体的な連携講義内容の設計進捗が報告された。</li><li>○現在、素案を事務局と合田先生と委員長で調整中であり、全専研の統括委員会でも共有される予定である。</li><li>○熊本大学全体ではなく、合田先生のご所属の研究センターなど、<b>範囲を限定して連携する方が現実的ではないか</b>との意見が出ている。</li></ul></li></ul> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各委員からの自由討議および懸案事項の協議が行われた。</li><li>・次回委員会の日程調整が行われ、第5回委員会は1月22日10時から、福岡にて対面ハイブリッド形式で開催されることが決定した。</li></ul>

以上